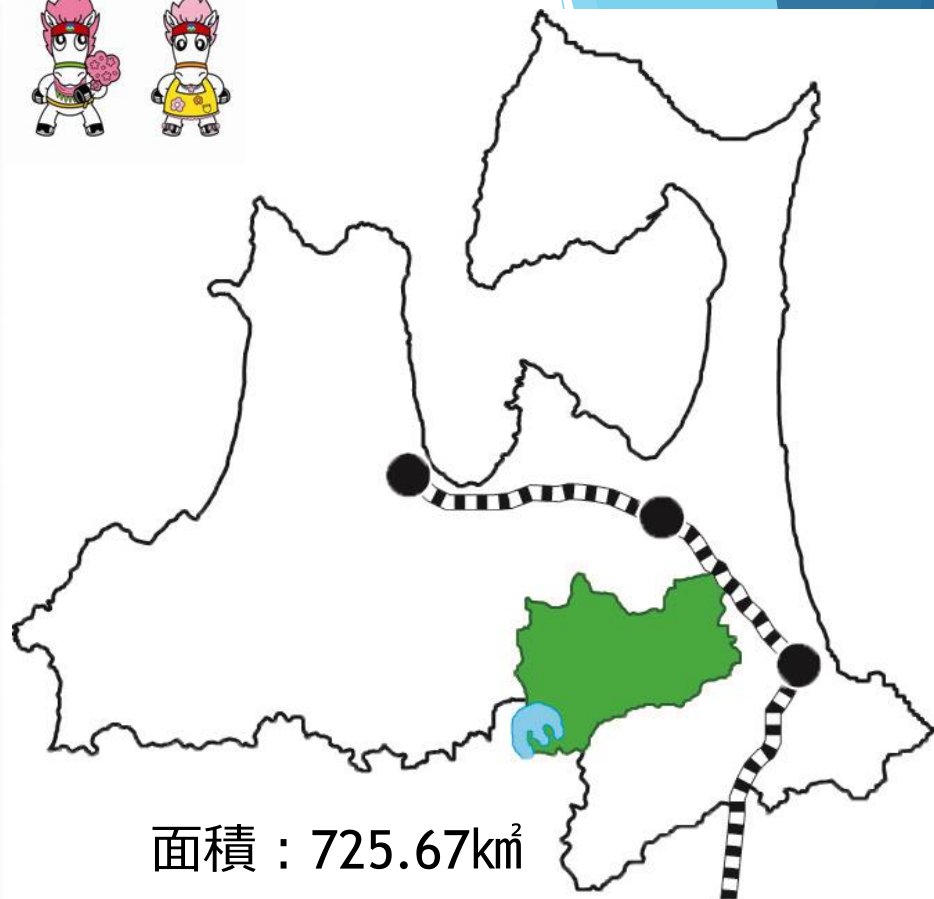
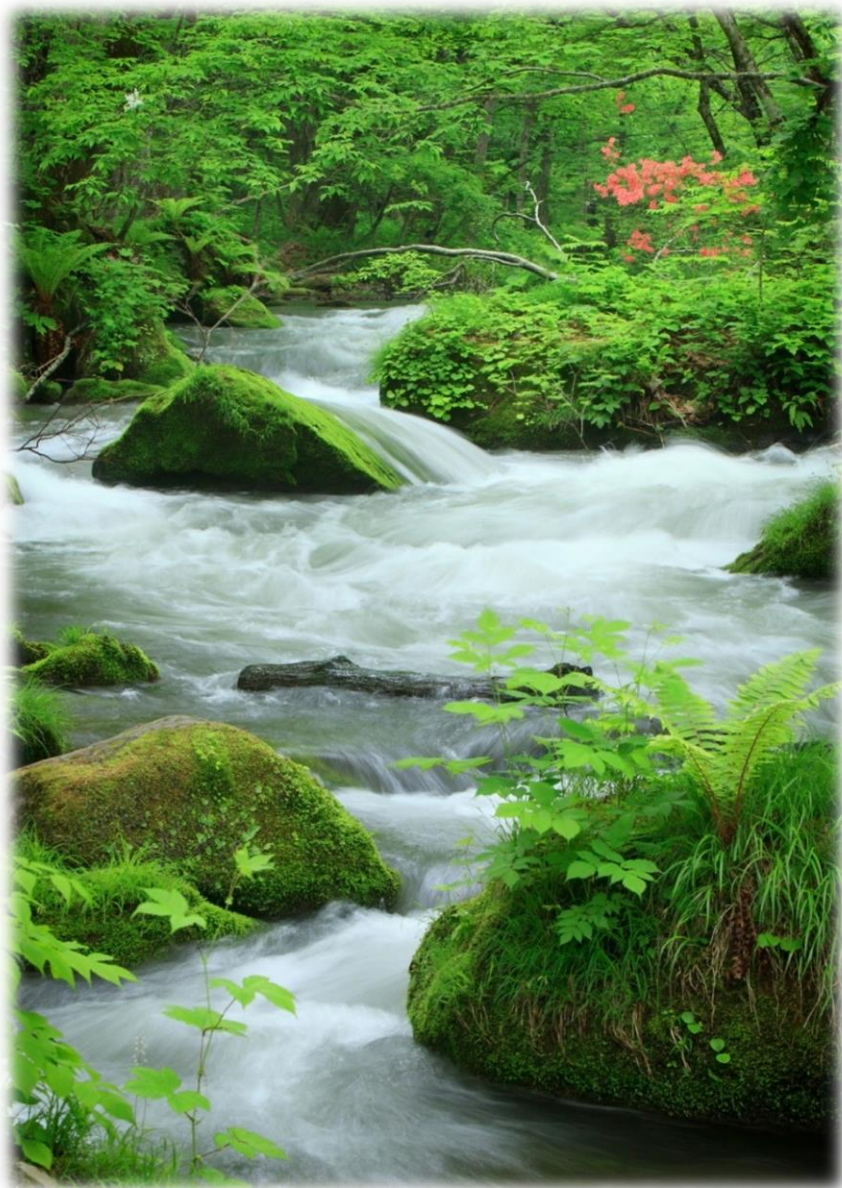


十和田市における 認知症高齢者等見守り 事業について

青森県 十和田市

青森県十和田市



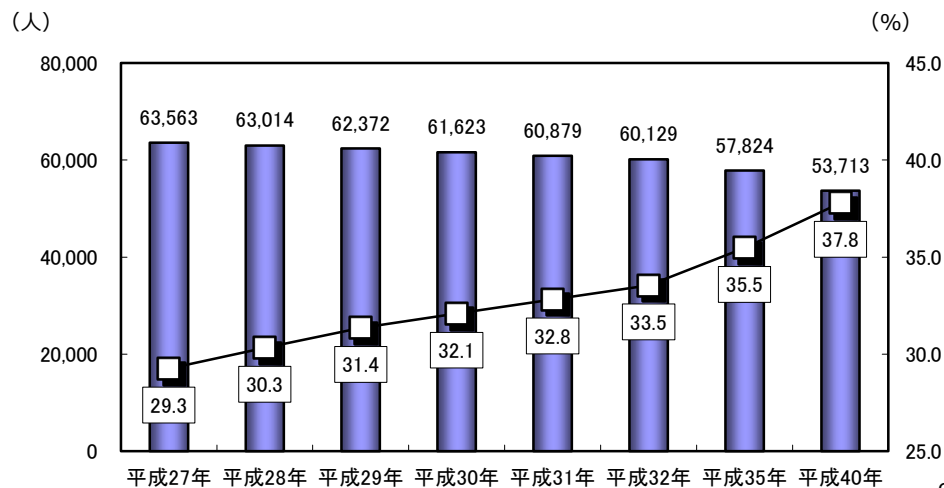
面積：725.67km²

区域の大半は十和田八幡平国立公園に含まれ、公園の中には、国の特別名勝および天然記念物に指定されている「十和田湖」と「奥入瀬溪流」があります。

▶ 1. 高齢化の現状と今後の見通し、管内の特徴

(H30.3月末時点)

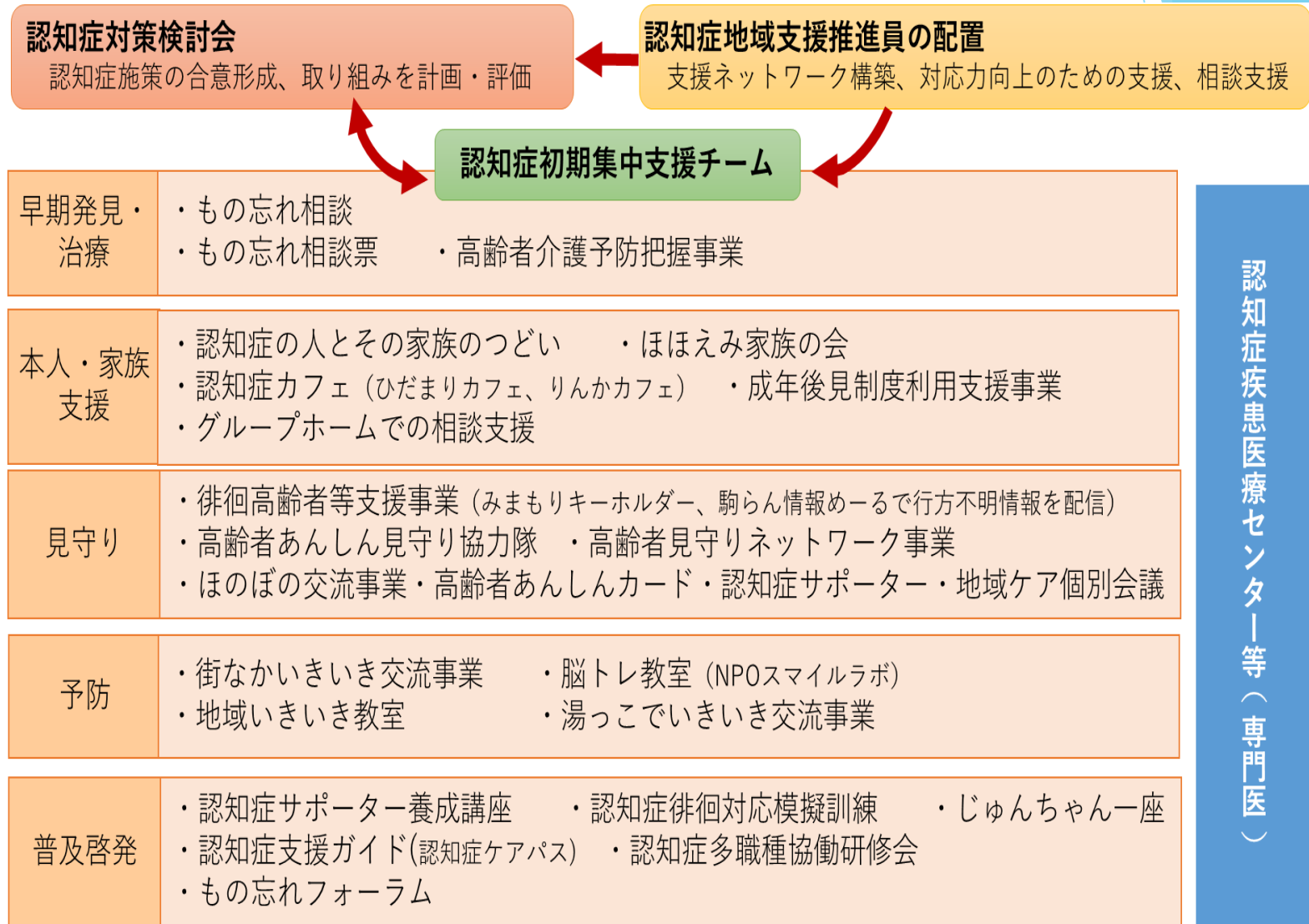
人口	61,857人	面積	725.67km ²
地域特性	<p>平成17年1月1日に十和田市と旧十和田湖町が合併してできた現・十和田市は、青森県の南東部中央に位置し、西半分は山地と原野が広がり、東半分は台地と農地と市街地で形成しています。産業は農業が中心で、稲作のほか、にんにく・ごぼう・ねぎ・ながいもなどミネラル野菜に力を入れています。公共交通機関はバスのみで、利用者の減少とともにバスの本数が少ない為、高齢者が不便を感じているのが現状です。平成30年4月からは、市内3圏域にそれぞれ地域包括支援センターが開設（委託）され、より地域に根ざした支援体制がスタートしました。</p>		
65歳以上人口	19,672人（再掲：75歳以上 9,631人）	高齢化率	31.8%
要介護認定者数	3,297人 ※要支援 405人 要介護 2,892人	認知症高齢者数	2,138人 ※認知症高齢者の日常生活自立度判定基準Ⅱ～Ⅴ



総人口は今後も減少する一方、高齢化率は上昇し、平成37年は36.5%、平成40年には37.8%と予測されます。

総世帯数及び高齢者世帯の推移をみると、平成24年から平成29年までの総世帯数は390世帯の増加、高齢者世帯は1,901世帯の増加であり、高齢者のみまたは高齢者単身世帯が増加してきている状況です。

▶ 2. 「認知症」のかたや家族を支える事業や取り組み



認知症疾患医療センター等（専門医）

認知症地域支援推進員の活動内容

① 認知症対応力向上の推進

- 認知症サポーター養成講座の調整及び実施
- 認知症高齢者徘徊対応模擬訓練の調整
- 「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」の周知
- 研修会等の関係機関への情報提供

② 在宅生活継続のための相談・支援

- 地域包括支援センターの推進員との連絡調整
- 認知症初期集中支援チームとの情報共有
- 市内12箇所のグループホームへの相談協力依頼と連携

③ 家族に対する支援事業

- 徘徊高齢者等支援事業の普及と実施、関係機関の調整
- 認知症ケアパスの作成と関係機関への周知
- もの忘れ相談票の活用普及

④ 多職種協働研修（企画・開催）

- H28年度 自動車運転・免許更新の問題等について
- H29年度 十和田市の高齢者の見守り支援
- H30年度 認知症の人・家族支援について
（認知症カフェ、ほほえみ家族の会、認知症を抱える家族のつどい等の活動発表）

▶ 3. 認知症の人の見守り体制

(H30.3末時点)

認知症高齢者等を見守るわ

セーフコミュニティ十和田

高齢者見守りネットワーク事業：市民、市内全域

高齢者あんしん見守り協力隊：167団体

認知症サポーター：約8,600人

徘徊高齢者等支援事業
登録者：39人
メール配信登録者：約2,500人



地域ケア個別会議

高齢者あんしんカード
配付数：約2,500人

ほのぼの交流事業

認知症高齢者等を見守るわ ①

事業名	概要、経緯、効果
高齢者見守りネットワーク事業 (H20年頃～)	<p>【概要】 地域を巡回している新聞配達員が、通常行っている業務の範囲で高齢者宅を訪問。声かけをして安否確認を行うとともに、異変を察知した場合は速やかに市または関係機関につなぐ。</p> <p>【経緯】 見守りが必要な在宅の高齢者を地域全体で支えるしくみが必要。</p> <p>【効果】 迅速な発見、連絡により、緊急時の初動期対応がスムーズに行えるようになった。</p>
「高齢者あんしん見守り協力隊」 (H25年～)	<p>【概要】 日頃の生活や仕事の中で、高齢者を見守る団体が登録し、異変を発見したら、地域包括支援センターにつなぐ。</p> <p>【経緯】 日常生活や業務の中で、高齢者に関心を寄せてもらうことで、緊急事態や気がかりな状態で早期に発見できるしくみが必要である。</p> <p>【効果】 見守り支援を行う関係機関が増え、SOSを出すことが難しい高齢者の情報が早期につながり、支援につながるようになった。</p>

十和田市高齢者あんしん見守り協力隊登録事業所

介護施設、金融機関、宅配業者、ガス会社、薬局など167団体が協力

(H30.3月末時点)

見守り

高齢者見守りネットワークが
見守り支援
をしています！

高齢者あんしん見守り協力隊 についてご紹介します。

十和田市では、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、高齢者の緊急事態や気がかりなときに、適切にそしてすみやかに対応するしくみ「高齢者見守りネットワーク」づくりに取り組んでいます。

日常生活や業務の中で、高齢者の方に関心をよせていただき、みんなで見守りをしていきます。

1. 高齢者見守りネットワークとは

☆市民の方、関係団体、関係機関が相互に連携・協力して地域の高齢者を見守るしくみです。

2. あんしん見守り協力隊として登録できるのは

☆町内会や民生委員、老人クラブ、保健協力員会等の地域で活動する団体や組織
☆本事業の主旨に賛同する民間事業所や商店街

3. 具体的に何をしますの？

☆「あんしん見守りガイド」を活用し、地域の高齢者の様子から「新聞や牛乳がたまっている」「最近元気がない」などちょっとした異変に気づいたときに、地域包括支援センターに連絡をします。

☆業務に支障のない程度に高齢者へ関心を寄せ、声かけをするよう勤めましょう。

4. 登録するには？

☆申請書を十和田市高齢介護課へ提出してください。

5. 周知関係

☆登録された見守り協力隊は、市のホームページでお知らせします。

☆登録証他見守り隊啓発普及品をお渡します。



高齢者あんしんカードをご存知ですか

高齢者や障害者のかたが病気や事故などにより緊急対応が必要となったときに、身元や緊急連絡先を速やかに確認できるカードです。希望者に配布しておりますので、市役所高齢介護課、地域包括支援センター、在宅介護支援センターにお尋ねください。
※カードは必要事項を自分で記入し、財布など携帯できるものの中に入れて、持ち歩いて利用するものです。



私の名前
私の住所
電話番号
緊急連絡先
・名前
・電話番号

【問合せ先】高齢介護課 ☎ 0176-51-6720

見守り

十和田市高齢者あんしん見守り協力隊登録事業所一覧 平成29年12月末現在 合計147団体

福生町	西一番町～西二十四番町	三本木
ニチケアセンター十和田 櫻田整骨院 十和田市タクシー協会 十和田市七・八丁目商店街振興組合 特定非営利活動法人 生きがい十和田 Life shop みやざき 餅 相取屋 十和田市中央商店街振興組合 十和田 NPO 子どもセンター・ハビタの 十和田観光電鉄株 十和田市老人クラブ連合会 鈴木整骨院	竹島整骨院 日本郵便 十和田郵便局 岡新聞 第一生命保険 十和田営業オフィス 山本薬局 南八甲タクシー みんな野薬局 南大成 十和田中央薬局西店 田中整骨院 ㈱スーパーカケモ 切田通り店 岡野整骨院 森接骨院 ひまわり調剤薬局 ツルハドラッグ 十和田店 グループホーム らいふ 十和田市食生活改善推進委員会 (公)認知症のひと家族の会 十和田地区 ㈱十和田ビルサービス 長谷地接骨院 南上村新聞店 田中商工株 北園整骨院 南下久保燃料 佐藤整骨院 ケアハウス ポナール十和田 十和田在宅介護支援センター 十和田デイサービスセンター	狭バیتالネット 十和田支店 特別養護老人ホーム 雙葉苑 在宅介護支援センターみちのく苑 介護老人保健施設 みちのく苑 在宅介護支援センターみちのく苑 居宅介護支援事業所 ひがし調剤薬局 吾郷町内会 テラー東北十和田南専売所 ㈱スーパーカケモ 西金崎店 カケモ とくし丸1号 ほると接骨院 吾郷見守り隊 青い森ケアうるおい 七郷やませクラブ
穂並町	東一番町～東二十四番町	切田
㈱ユニバース パワーズU 十和田店 ㈱九大サクラ薬局 ハッピードラッグ穂並町店 スーパーカケモ 本部	㈱ユニバース ユニバース東店 ㈱小笠原新聞店 生活協同組合とわだ 十和田タクシー ㈱ あい薬局 東三番町店 デイサービスセンター 白菊苑 移動スーパーとくし丸2号 佐々木柔道整復院 ヤクルト十和田センター 青森県柔道整復師会十和田地区 南大柳新聞店 南大成 十和田中央薬局 サワカ薬局 東店 南三本木燃料 スーパーカケモ 三小通り店 みちのくホームヘルパーステーション 訪問看護ステーションみちのく ホームヘルパーステーションすずらん ホームヘルパーステーションたんぼぼ ㈱南山デイリーサービス十和田店 とまべち整骨院 トコス整骨院	社会福祉法人 福祉の里 老人保健施設 みちのく苑 グループホーム ふるさと十和田 十和田ホームヘルパーセンター 十和田訪問看護ステーション
元町西	元町東	深持
十和田石油㈱ 福祉の里 アネックス元町 十和田訪問入浴サービスセンター 十和田テクノイデサービス	㈱九大サクラ薬局 ハッピードラッグ十和田店	特別養護老人ホーム一葉園 デイサービスセンター 三葉苑 在宅介護支援センター 三葉苑 十和田整骨院 長根尻町内会 居宅介護支援センター なかよし荘 デイサービスセンター なかよし荘
元町東	大沢田	米田
㈱九大サクラ薬局 ハッピードラッグ十和田店	生活協同組合 コープあおもり	郡川薬局 加賀整骨院
相坂	洞内	奥瀬
ENEOS グローブエナジー ㈱ グループホーム きゃんぼす 居宅介護支援事業所 きゃんぼす デイサービスセンター きゃんぼす 在宅介護支援センター ハートランド 在宅介護支援センターハートランド 居宅介護支援事業所 介護老人保健施設 ハートランド 介護老人保健施設ハートランド テイクセンター 介護老人保健施設ハートランド 訪問入浴介護 からだ元気治療院 十和田店 イオンスーパーセンター十和田店	ヤマト運輸 十和田支店 ㈱ケアライフ 青森 十和田営業所 洞内町内会 在宅介護支援センター 老健とわだ とわだ訪問介護 介護老人保健施設とわだ 介護老人保健施設とわだ 訪問リハビリテーション 介護老人保健施設とわだ 短期入所療養介護 介護老人保健施設とわだ 居宅介護支援事業所 洞内松竹舎	ササキ石油販売㈱ グループホーム らっこ 特別養護老人ホーム 湖楽園 在宅介護支援センター 湖楽園 デイサービスセンター 湖楽園 訪問介護事業所 湖楽園 福田整骨院 在宅介護支援センター おいらせ デイサービスセンター おいらせ ヘルパーステーション おいらせ グループホーム おいらせ
赤沼	青森市	明治安田生命青森支社
十和田ガス㈱		

ほか 15 団体 (掲載不可)

十和田市高齢者あんしん見守り協力隊

「あんしん見守りガイド」を活用し、地域の高齢者の様子から「新聞や牛乳がたまっている」「最近元気がない」などちょっとした異変に気付いたときに、地域包括支援センターに連絡をします。

《あんしん見守りガイド》



認知症高齢者等を見守るわ ②

事業名	概要、経緯、効果
認知症サポーター	<p>【概要】 認知症サポーター養成講座等を受講した人たちが、オレンジリングをつけ、自分の生活の中でできる範囲の見守りと、必要時相談機関につなぐ。</p> <p>【経緯】 制度としての見守りではなく、暮らしている地域で自然体の見守りができる地域を作っていく必要がある。</p>

○認知症サポーター等養成講座

平成30年6月末現在 実施状況、351回、修了者数8,615名

⇒ フォローアップ研修や認知症高齢者徘徊対応模擬訓練などの協力を呼びかけを実施し、サポーターを次に繋げる取り組みを実施している。

○認知症カフェの設置状況 2カ所（ひだまりカフェ、りんかカフェ）

⇒ 今後、サポーターをボランティアとして活用していきたい。

認知症高齢者等を見守るわ ③

事業名	概要、経緯、効果
徘徊高齢者等支援事業 (H29年～)	<p>【概要】</p> <p>(1) 事前登録 対象者の情報を申請により高齢介護課で登録し、あらかじめ警察へ情報を提供しておくことで徘徊時の保護者等への連絡を円滑に行う。高齢者には、見守りキーホルダーを身に付けてもらう。</p> <p>(2) 行方不明情報発信 氏名・性別・年齢・行方不明日時・行方不明時の状況・身体的特徴等を配信し、早期発見につなげる。駒らん情報めーるで情報配信。</p> <p>【経緯】</p> <p>徘徊高齢者等が警察に保護された場合に、身元の確認が困難で時間がかかり、本人及び保護者等の負担が大きい。また、行方不明の高齢者等が発生した際、市民からの情報提供を仰ぐことが困難である。</p> <p>【効果】</p> <p>行方不明時において、発見・保護時の早期の身元特定を容易にし、市民等への情報発信により、協力を仰ぎ、保護者等のもとへ早く帰宅できるようになった。また、警察、包括支援センター、市との連携がスムーズになった。</p>

徘徊高齢者等支援事業

自宅に戻れなくなるおそれのある高齢者等の情報をあらかじめ登録する「事前登録」と、行方不明になった際に情報提供を呼び掛ける「駒らん情報メール」を実施することで、徘徊高齢者の早期発見・保護や、徘徊高齢者の発見・保護時の身元特定を容易にし、ご本人及び保護者の方の負担軽減が可能となりました。

《事前登録》

■十和田市徘徊高齢者等支援事業■

徘徊が心配な方・・・
事前登録をおすすめします。

認知症による徘徊高齢者が行方不明になったり、事故に遭うなどの事例が増えています。長い時間道に迷っていると、体力が消耗し衰弱したり、熱中症などによる脱水、転倒による骨折、交通事故で命にかかわる危険があります。また、行方不明になってから時間が経つほど発見が困難になる場合があるので、早期に発見、保護することが重要です。

「事前登録」とは、
徘徊高齢者等の情報を登録しておくことで、保護された時に身元の確認が早くできます。

＜登録時、持参するもの＞
・申請者の認め印
・登録者の介護保険証等、本人確認できるもの
・登録者の最近の写真

対象登録者 ・認知症等により徘徊するおそれのある65歳以上の方
・若年性認知症等の方

登録者の情報と写真を十和田警察署(生活安全課)に情報提供します。

登録番号が記載された「みまもりキーホルダー」をさしあげます。

もし、**行方不明になったら...**

すぐに十和田警察署に届けましょう！ ☎23-3195

市民の方へ
発見・保護協力を依頼します。

お問い合わせ先：十和田市役所 高齢介護課 0176-51-6722



事前登録者が身に付けるキーホルダー

《駒らん情報メール》

駒らん情報メールを登録しましょう！

■市民のみなさんへ■

警察に行方不明の届出があった場合、行方不明となった高齢者等の特徴などの情報を「駒らん情報メール」で配信します。
みなさんが登録することで、地域ぐるみで早期発見、保護につながります。地域の高齢者の見守りをみんなでしましょう。

「駒らん情報メール」とは、十和田市のイベント情報、災害時の避難所の情報、気象情報などを登録者の携帯電話やパソコンにメール配信するサービスです。

【登録方法（登録無料）】
① 右記 QR コードを読み取り、空メールを送信してください。
または anzenjoho@info-towada.jp に空メールを送信してください。
② 登録案内メールが届きますので、案内にしたがって登録してください。
③ 「行方不明者」のカテゴリーにチェックが入っているか確認してください。

*メールが届かない場合は、info-towada.jp のドメインが受信拒否になっている場合があります。解除してからはじめてください。わからない時は携帯電話会社にお尋ねください。

＜配信される内容＞

【行方不明者】
行方不明者情報
お心当たりのある方は、
十和田警察署まで

◆行方不明者の状況◆
氏名 性別 年齢
行方不明日時
行方不明時の状況
身長・体型・服装・その他

◆◆登録例◆◆
十和田 花子さん（85歳）女性
平成29年3月3日 夕方4時
頃、買い物に行くとき自宅を出た
きり、戻ってこない。
・身長145cm やせ形
・茶色の上着にグレーのスボン
・眼鏡をかけている

◆◆気になる人への声のかけ方◆◆
・ゆっくりと近づいて、相手の視野にはいつから、ゆっくりと声をかけてください。(大声だとびっくりします)
・声かけは「こんにちは」「悪いですね」など、ごく普通のあいさつから。
・わかりやすい簡潔な言葉で、一つずつ話しかける。
・声をかけてもうまくいかない場合は、いったん離れて、近所他の人に助けを求めてください。

※行方不明者のメール配信時間は 8:30 から 20:00 まで

お問い合わせ先：十和田市役所 高齢介護課 0176-51-6722

認知症高齢者等を見守るわ④

事業名	概要、経緯、効果
高齢者あんしんカード	<p>【概要】 高齢者や障害者のかたが病気や事故などにより緊急対応が必要となった時に、身元や緊急連絡先を速やかに確認できる名刺サイズの携帯用カードで、希望者に配布。（H30年度は約17,000枚印刷し、高齢者全員に配布予定）</p> <p>【経緯】 緊急対応時に身元が判明できるもの（運転免許証や保険証等）を所持していない高齢者も多く、緊急時対応に時間を要していた。</p> <p>【効果】 速やかに緊急連絡先が判明し、緊急対応必要時に迅速な対応ができるようになった。</p>

《高齢者あんしんカード》



私の名前	_____
私の住所	_____
電話番号	_____
緊急連絡先	_____
・名前	_____
・電話番号	_____



認知症高齢者等を見守るわ ⑤

事業名	概要、経緯、効果
ほのぼの交流事業	<p>【概要】 独居高齢者で希望者を対象に、ほのぼの交流員が定期的に見守り支援を行う。</p> <p>【経緯】 見守り体制を強化することで、地域とのつながりが必要とされる方が、地域の中で安心して暮らせるような社会を構築するために実施。</p> <p>【効果】 訪問・交流等により対象者の孤独感や不安の解消が図られ、安心して暮らせる環境づくりができた。</p>
地域ケア個別会議	<p>【概要】 町内会単位で、地域住民・包括支援センター・在宅介護支援センター・介護保険事業所・民生委員・町内会長等が参加し、認知症の方の事例を用いて、個人の課題、地域の課題、公的制度の理解、自分たちができること、普段から自分自身も取り組みこと等を検討。</p> <p>【経緯】 自分のこととしてとらえる市民が増えることで見守り体制への理解が深まるために実施。</p> <p>【効果】 日常的に、地域の中でのコミュニケーションやちょっとした関心で見守れることがある、気づいたらつなぐ場所があるということを理解してもらう機会となっている。</p>

▶ 4. 事業実施の課題・ポイント

- ① 認知症の理解
認知症という一つの病気の特徴を理解する
認知症という病気により、日常生活でサポートが必要となる部分はあるが、何もできないのではない
- ② 地域住民へ事業の周知
他人事から自分事へ
理解と協力を得るための継続的アプローチ
- ③ 支援や見守りを受ける側の意識の改革
自助・公助の理解
- ④ 登録制度のものについては、情報の更新体制
- ⑤ 認知症施策以外の事業等も含めた地域力づくり

じゅんちゃん一座

市立病院精神科医を座長とした一座
方言やユーモアを交え、認知症について正しい知識や対応方法を
わかりやすく伝える活動をしています。



もの忘れフォーラム

10年ほど続く認知症に関する市民への普及
啓発のフォーラム

市民文化センターを会場にし、平成30年度
は、参加者が900人と市民に定着している
フォーラムです。

病院・介護関係事
業所等の職員がボ
ランティアで役者
をしています。
毎年、もの忘れ
フォーラムでも公
演しています。

第13回
上十三もの忘れフォーラム2018

<日時>平成30年 4月14日(土)
13:00~16:00(開場12:30~)
<場所>十和田市民文化センター 大ホール(定員1000名)

【総合司会】 阿部クリニック 院長 阿部 芳則
【聯合の挨拶】 (一社)上十三医師会 会長 石井 淳夫
【フォーラム開催によせて】 十和田市 市長 小山田 久

講演1 「睡眠と運動」 十和田済誠会病院 副院長 江渡 江
講演2 「脳卒中と認知症」 十和田市立中央病院 脳神経外科 診療部長 赤坂 健一
講演3 「相棒 -振りむけば君がいる、前見れば友がいる-」 竹内淳子&じゅんちゃん一座
講演4 「糖尿病と認知症」 はなひと診療所 院長 片野 春人

パネルディスカッション
司会 阿部クリニック 院長 阿部 芳則
パネラー 江渡 江 片野 春人
赤坂 健一 江渡 江
十和田市立中央病院 脳神経外科 診療部長 赤坂 健一
高松 敏生
高松 敏生
十和田市医師会 阿部 芳則

【聯合の挨拶】 阿部クリニック 院長 阿部 芳則
【閉会】 (一社)上十三医師会 会長 石井 淳夫
【閉会挨拶】 十和田市 市長 小山田 久
【閉会挨拶】 十和田市立中央病院 脳神経外科 診療部長 赤坂 健一
【閉会挨拶】 十和田市立中央病院 脳神経外科 診療部長 赤坂 健一
【閉会挨拶】 十和田市立中央病院 脳神経外科 診療部長 赤坂 健一
【閉会挨拶】 十和田市立中央病院 脳神経外科 診療部長 赤坂 健一

認知症徘徊対応模擬訓練

- 平成29年度は、場所と日にちを変え、3回実施。
- 参加者は、高齢者見守り協力隊や民生・児童委員、市民など約200人。
- 認知症に関する基礎知識、119番通報の手順を学んだあと、実際に、中央商店街の街なか市場とアーケード街、銀行などで模擬訓練を行いました。



広報を使った啓発

広報とわだ（平成29年10月号）

認知症の方のご家族の体験談、徘徊対応訓練の様様、じゅんちゃん一座の活動など、巻頭6ページにわたり「認知症」を特集しました。



「私たちも見守っています。ご相談ください」



地域で安心して暮らせるよう支援します
官民連携で見守り
支え合い



認知症の方のサポートが実現し始めても、徘徊対応訓練が好評です。今後も広がります。



思いもよる寸前で認知症の理解を啓発
認知症の人の「考え」をみよう

認知症の人の「考え」をみよう

認知症の人の「考え」をみよう

記憶のつぼが壊れる認知症 悲しみ
やり場

記憶のつぼが壊れる認知症 悲しみ

記憶のつぼが壊れる認知症 悲しみ

娘の証言 姑のAさん
ものごとなくなつたから始まりました

娘の証言 姑のAさん

娘の証言 姑のAさん

認知症 暮らせるまちへ
〜わたしたちが創る〜希望と活力あふれる 十和田 Soft No.180 2017

認知症 暮らせるまちへ

認知症 暮らせるまちへ

認知症ケアパス

初版：平成28年3月

改訂版：平成30年8月見直し
をしました。

認知症 になっても  **安心して暮らせる**

まち をめざして

十和田市認知症ケアパス

※認知症ケアパスとは、認知症の人やその家族がどのような医療・介護サービスを利用できるのか、状態に応じたサービス提供の目安となるガイドブックです。



十和田市

認知症になっても安心
認知症 ケアパス もくじ



認知症について	
1. 認知症について	P 2
2. 認知症かなと思ったら	P 3
3. もの忘れ相談票	P 4
相談窓口について	
4. どこに相談したらいいの？	P 6～10
使えるサービスについて	
5. 介護予防～いつまでも元気で暮らすために	P 11～12
6. 見守り支援～地域で支えあい	P 12～13
7. ほっと♡一息コラム	P 14
8. 認知症の経過と対応・サービス	P 15～16
9. 安心メモ（現在の状況を記入しましょう）	P 17



3. もの忘れ相談票

ばいしらすばさの「十和田ねんじん」です  **もの忘れ相談票** 

記入日 年 月 日

ご本人の氏名	記入者氏名
男・女	本人・家族・ケアマネ・居宅サービス事業所・地域包括ケアセンター その他()
介護度	□未申請 □申請中 □事業所受託 □要支援1 □要支援2 □介护1 □介护2 □介护3 □介护4 □介护5
居宅ケアマネージャー氏名	居宅介護支援事業所

※以下の当てはまる受診目的・症状について番号に○をつけてください

今週の覚悟目的はなんですか

1. 介護保険のための主治医変更書
2. 物忘れなどの病状についての相談・治療
3. その他(専門医療機関への紹介など)

症状について

1. 同じことを何度も言う、または聞く	12. トイレの失敗が増えた
2. しまい忘れ、置き忘れが増え、探し物がなくなった	13. お風呂にきちんと入ることができなくなった(入りたがらない・体をうまく洗えない)
3. 財布・通帳・衣類などが盗まれたという	14. 季節はずれのものを着たり、着衣の順番を誤ったりする
4. さっき言ったことをすぐ忘れる	15. 着替えをしなくなった
5. 昨日の出来事を忘れてしまう	16. 車の運転・計算などのミスが多くなった
6. ささいなことで、怒りっぽくなった	17. 料理や片付けができなくなった
7. 他の人にはいい顔をして、話を合わせる(とりつくろ)	18. 後回しする(外に出ていきがちだったり、出ていったりする)
8. 不安になったり、落ち着かない	19. 動きまわり、目がはなせない
9. 養情が乏しく、まわりに関心を示さなくなった	20. 「声が聞こえる」「虫が見える」などの幻聴や幻覚がある
10. 服薬を忘れることがある	21. 寝るがある
11. 声をかけられ、管理しない服薬を忘れる	22. 食欲がなく、体重が減った。又は食欲があり、食後のなに食べ物を残す

主治医の先生へのお願い

※専門医療機関へ紹介する際は、この用紙を添付してくださいようお願いいたします。
十和田市認知症対策検討委員会作成 <問い合わせ>十和田市高齢介護課 高齢者総合支援室 51-6720

8. 認知症の経過と対応・サービス

～予防から認知症の進行に合わせて対応していくことが大切です～

認知症の進行	正常なレベル	軽度認知障害 (MCI)	認知症						
本人の様子		●もの忘れが現れ、人や物の名前が思い出せない事が時々ある ●日常生活は自立している	<table border="1"> <tr> <th>軽度</th> <th>中等度</th> <th>重度</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 認知症の疑い 日常生活はほぼ自立 ●つじつまが合わない話をする ●同じ事を何度も聞く ●同じものを何度も買って来る ●料理の片付け、計算等ミスが目立つ ●『物を盗られた』と訴うようになる </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 誰かの見守りがあれば日常生活は自立 ●お金の管理ができない ●使いたれた道具の使い方が分らなくなる ●言葉や入浴を嫌がる ●道に迷うようになる </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活に支障が大きい ●トイレの失敗が多くなる ●家族の誰か名前が覚えなくなる ●運動機能が低下し、食べたり歩いたり困難になる </td> </tr> </table>	軽度	中等度	重度	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の疑い 日常生活はほぼ自立 ●つじつまが合わない話をする ●同じ事を何度も聞く ●同じものを何度も買って来る ●料理の片付け、計算等ミスが目立つ ●『物を盗られた』と訴うようになる 	<ul style="list-style-type: none"> 誰かの見守りがあれば日常生活は自立 ●お金の管理ができない ●使いたれた道具の使い方が分らなくなる ●言葉や入浴を嫌がる ●道に迷うようになる 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に支障が大きい ●トイレの失敗が多くなる ●家族の誰か名前が覚えなくなる ●運動機能が低下し、食べたり歩いたり困難になる
軽度	中等度	重度							
<ul style="list-style-type: none"> 認知症の疑い 日常生活はほぼ自立 ●つじつまが合わない話をする ●同じ事を何度も聞く ●同じものを何度も買って来る ●料理の片付け、計算等ミスが目立つ ●『物を盗られた』と訴うようになる 	<ul style="list-style-type: none"> 誰かの見守りがあれば日常生活は自立 ●お金の管理ができない ●使いたれた道具の使い方が分らなくなる ●言葉や入浴を嫌がる ●道に迷うようになる 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に支障が大きい ●トイレの失敗が多くなる ●家族の誰か名前が覚えなくなる ●運動機能が低下し、食べたり歩いたり困難になる 							
家族の心構え		●社会参加や趣味活動への働きかけ ●認知症を正しく理解する。 ●いつとも様子が違ったら早めに相談する (P6～10)	●介護サービスを上手に利用する ●家族自身の体調管理 ●緊急時の対応を整理しておく ●どのような将来期を迎えるか家族間で相談しておく						
予 防	地域いきいき教室 (P11)、特定検診、健康講座、まちひとセルフチェック (健康介護まちごと相談薬局 P11) 老人クラブ、ふれあい・いきいきサロン、いきいき介護ボランティアポイント事業 (P11) 認知症カフェ (のんかカフェ・ひだまりカフェ P12)								
生 活	配食サービス、食料・日用品配達サービス、シルバー人材センター 日常生活自立支援事業 (あつがるハート)、十和田市消費者生活センター (P6) 成年後見制度 (P13)								
医 療	かかりつけ医 認知症サポート医、もの忘れ外来 (P8)、認知症疾患センター (P8)、若年性認知症サポートセンター (P9) もの忘れ相談 (P8) 認知症初期集中支援チーム (P11) 訪問介護、訪問入浴、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問診療								
住 ま い	自宅、経費老人ホーム (介護保険外サービス)、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、認知症対応型グループホーム、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム 介護の相談窓口 地域包括ケアセンターなど (P6～10) 家族介護型事業、家族介護用品支給 (紙おむつ)								
介 護	訪問型、通所型サービス (介護予防・日常生活支援総合事業) 通所介護、デイケア、住宅改修、短期入所、福祉用具貸与・販売 (介護保険サービス) 認知症カフェ (のんかカフェ・ひだまりカフェ P12)、認知症の人を支える家族のつどい (P13)、健康えみ家族の会 (P8)								
見守り	緑の域の交流事業、福祉安心電話、民生委員や地域による見守り支援 高齢者見守りネットワーク事業、高齢者安心見守り協力隊 (P12)、高齢者安心カード、遊覧行動支援者事業								
安否確認	認知症サポーター養成講座 (P12)、徘徊高齢者等支援事業 (P13)								

▶ 5. 今後の展望

認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）と整合性を図りながら、当事者の視点を重視した企画・評価等の取り組みを進め、総合的に認知症施策を推進していきます。

1. 医療機関や介護保険事業者・家族の会などの支援機関をつなぐ連携支援
2. 認知症の人やその家族を支援する相談体制の充実を図り、早期の支援
3. 認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症の人や家族への見守り支援の充実
4. 市民の認知症に対する理解と協力が得られるよう普及啓発

最後に、認知症高齢者等見守り事業を考える上で

認知症施策、一般高齢者施策を組み合わせ、大きな目でみた地域づくり
地域とのつながりが減っていく施策になってはいないか？
地域力が高まる視点が入っているか？

一人の高齢者に対して、サービスの充実＋地域との接点
在宅で自分らしい暮らしを続けるためには、地域との接点は必要

見守りする側への体制

普段の生活を変えるのではなく、ちょっとだけ関心を持ってもらう
見守りの中で、気づいた後、どうすればいいかを明確に伝える
(気づいた人が責任を負わない)
つないだ後、つないだ人がそれでよかったのか悩まないための対応

認知症という一つの切り口から、認知症の有無に関わらず、
見守りのある、住んでいて良かった地域づくりへ



日本の道100選～官庁街通り

ご清聴ありがとうございました。

十和田市 健康福祉部 高齢介護課